

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成 30 年 7 月 16 日

氏 名: 奈良 健一郎

留学時所属 & 学年: 国際地域学部国際地域学科2年

留学先大学	ルーマニア・アメリカ大学
留学先国	ルーマニア
留学期間	1 学期間
留学開始一終了日	2018年2月25日 - 2018年6月25日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

一番のきっかけは英語で会話する機会を増やすためです。同時に自分は海外で働くことも視野に入れているので、現地で働く日本人とも接点を持ち彼らの経験を聞いてみたいという気持ちは留学前からありました。さらに現地で行われるよりアクティブな生徒主体の授業を経験したかったのもありました。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

11月の終わりあたりから、どのような科目に絞っていくのか授業リストを見ながら、考え始めました。同時に福井大学のどの授業なら単位交換できるのかということについても同時に考えていました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

留学先を決めるうえで大事にしたのは、あまり日本人が少ない環境ということです。たしかに、イギリスやアメリカだと英語に触れる機会が他の国に比べて多くなりますが、同時に日本人留学生も多いと思いました。なので誰とでも英語で話さなきゃコミュニケーションをとれない環境を作るためにルーマニアを選びました。そのほかの要因としてはヨーロッパの歴史に興味があり、ヨーロッパに行ってみたいという気持ちは当初ありました。大学や現地の情報については、主に大学のホームページ、またその時すでに現地にいた日本人留学生とのメールでのやりとり

で得ていました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

留学前は語学能力試験としては TOEFL のみを 6 回受験しました。対策としては一番点数の取りやすい文法に焦点を絞り参考書を繰り返し見返してました。その中で出てくるパターンをある程度覚えていきました。同時にリスニング対策としては、毎日英語を聞くことを目標に PBS news hour や BBC などの英語でのニュースを見ていました。リーディングに関しては授業での課題で十分だと思ったので、特に対策は行わず、単語力を伸ばすことに集中していました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

どのような科目を履修するか決める際に助言教員の Kelly King 先生のアドバイスがすごく現地で役に立ちました。どのような授業が英語で受けるのが難しいか、あまり授業名だけではどんな内容かわからない授業について詳しく教えてもらいました。また現地の設備などについての情報は国際課にいろいろ教えていただいたので非常に準備の段階で助かりました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

留学前に一応とる授業についてある程度決定し提出しますが、実際ルーマニア・アメリカ大学にいくと、開講されていなかったり他の取りたい授業と被っていたりしてとれない授業がいくつかありました。なので留学前はある程度自分の取りたい授業の把握するくらいで大丈夫だと思いました。また現地についてからどのような科目と単位交換できるか知るためにシラバス類を現地にもっていくべきだと思いました。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

雰囲気は、静かであまり人の多さを感じませんでした。クラブ活動などがあまり盛んではなさそう、授業が終わったらすぐ家に帰る人が多い印象を受けました。また同時にアジアの文化・言語を学ぶセンターも多くして、韓国・中国・日本語のセンターがありました。下の写真は大学の入り口の写真とロビーの写真です。



2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

Wifi 環境については整っていて、学習支援については自分が属していた Asian Center の学生と話すことで新たな知識、英語での会話も行えました。スポーツ施設としては、校内にジムがついており有料だが利用できます。さらに金曜の授業でスポーツの授業があり、それをとると毎週留学生や現地の学生とスポーツを楽しめます。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

サークルや部活ではありませんが、Asian Center に属しており日本語指導、文化交流などができました。また Center が毎年開いている、日本文化交流イベントにボランティアとして参加させてもらうことができ、イベントの関係でルーマニアに来られた日本のアーティストさんたちを案内や通訳のような形でサポートすることができました。

B. 授業や勉学

1. 留学先で履修した科目

No.	科目名	担当教員名	時間数/週	単位数	クラス内の人数	授業内容、課題(予習・復習など)
	Statistics	Stefan Ionescu	4	5	30	<ul style="list-style-type: none"> ・Descriptive statistics ・Frequency Distribution ・Measures of Location, Variability and Association ・Probability

	Macroeconomics	Bogdan Glavan	4	5	30	<ul style="list-style-type: none"> ·Quantitative evaluation ·Economic analysis of state functioning ·Taxation ·Monetary policy ·Inflation
	Business Communication in English	Elena Museanu	3	3	30	<ul style="list-style-type: none"> ·Netiquette in business communication ·Leadership ·Negotiation ·Intercultural communication
	Trade Policy	Iuliu Marin Ivanescu & Alexandru Butiseaca	4	6	15	<ul style="list-style-type: none"> ·Free trade vs Protectionism ·The instrument of trade policy ·International trade
	Service Marketing	Monica Ratiu & Alexandra Perju Mitran	4	5	15	<ul style="list-style-type: none"> ·Transport service marketing ·Banking financial service marketing ·Social and Cultural service marketing ·Legal and educational marketing
	Internationalization of SMEs	Surdu-Nitu Dana Georgiana	3	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ·International business environment and challenge for company ·Business model and internationalization strategy ·organizational structure for growth and internationalization ·Result of global

						expansion
	Supply Chain and Strategy	Ratiu Monica	3	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・Supply chain management ・SCM and strategic alignment ・Development supply chain management
	EU Sectorial Policy	Gabriela Dragan & Ramona Grigore	4	5	10	<ul style="list-style-type: none"> ・European Framework ・EU budget ・EU competition and cohesion policy ・EU energy policy
	Communication in 21 st Century	Filipe Carrera	*Guest Courseのため 1週間半という短期間で開講	5	8	<ul style="list-style-type: none"> ・Presentation Technique ・the development of communication
	Tour Operator and Travel Agency	Patricia Dodu	2週間に1時間	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・The organizational system in tourism ・Professional terms
	Tourism Geography	Patrichi Ioana Cristiana	2週間に1時間	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・How to appeal tourists sites in each country ・Category of tourists sites
	Sociology of Intercultural Communication	Vincent Parrillo	*Guest Courseのため 1週間という短期間で開講	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・The difference of communication style around the world

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

授業を受けるにあたって、先生の話もそうですが、発言する生徒の意見を特に注目して聞いていました。その中でいろんな国の政治や経済の状況・問題点を聞けて、日本との違い・または似ている点を実感しました。プレゼンを行う授業については、メモなどは一切使わないように心がけて望んでいました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

多くの先生が日本のことについて授業中質問してきたりするのですが、実際自分の国なのに、政治、経済の分野で知らないことが多すぎて答えられないときがあり、知識量の少なさを実感しました。そのたび授業後に日本のことについて改めてインターネットで調べたりして、復習を行っていました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

まず学部生向けと院生向けの授業に分けられていて留学生は自由にどちらでも取ることができます。院生向けの授業の方がプレゼンテーションやディスカッションなどが多くアクティブな授業があり、逆に学部生向けの授業はずっと聞いていることが多かったです。また授業の中でも Course と Seminar に分かれており Course では主にレクチャー、Seminar ではディスカッションを多かったです。印象としては、日本の授業と比べると常に生徒と先生のやりとりが行われ、違いを感じました。

5. お薦めの教員や授業などがありましたら教えてください。

Internationalization of SMEs は企業分析など今後使えるような知識を学べ、また英語で話す機会がとにかく多いのでお勧めします。Communication in 21st Century は毎回の授業でプレゼンテーションを行い、行う上で必要な知識を得ることができるのでプレゼンテーション力を上げたい人には特におすすめです。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(3)人部屋
寮・アパート名	
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。)

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学寮には銀行及び ATM が整備されていたので便利だと感じました。スーパーのようなものも歩いて 15 分ほどの距離にあり頻繁に利用していました。また少し距離はありますがよく利用していた日本食のレストランもあり、そのマスターにはよくお世話になっていました。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地で銀行の開設はしておらず、ATM が各地にあるので引き落としは自由にいろんなところでできました。自分の場合、クレジットカードも現金も同じくらいの割合で利用していたと思います。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

現地で食べ物の味があまり合わなかったのもので、日本で使っている調味料などはあったら便利だと思いました。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨=Lei)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	6500	食費	4280
保険代	2800	家賃	1800
予防接種・ビザ代	0	教科書代	0
交際費(外食等)	0	その他(個人旅行)	(5300)

合計: 15380 (約 434,559 円)

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

とりわけ服装で気を付けることはありません。あとはあっちの人は結構時間にルーズなので最初驚くかもしれませんが、受け入れていったほうがいいです。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

特に校内で医療サービスを見かけることはありませんでした。病院に関しても周辺には見当たりませんでした。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

なかったです。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などがありますか。

野犬に対してのワクチンが必要かもしれないですが、自分が住んでいたブカレストでは一回も野犬には出会わなかったです。日本からいつも使っているバファリンなどの頭痛薬や腹痛薬を持っていきました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど
留学を通して、英語での会話力は格段に向上したと感じています。現地の人とだけでなく、自分と同じような留学生と会話ができ、それぞれの国によって話し方、性格などの違いを感じることができました。特に宗教性が強い国の人との会話は自分にとって新たな考え方の習得につながり世界観も少し変わったと思います。彼らは物事への考え方がそれぞれ違い芯を持っていて、芯を持つことがどういうことかというのを学べた気がします。私にとって英語力を向上できた要因として、いろんな部屋に出入りしていたことが関係していると思います。自分の部屋は自分も合わせ2人部屋なのですがルームメイトは英語が全然しゃべれなくルームメイトとの英語の日常会話を楽しみにしていた自分にとっては残念な出来事の一つでした。しかもルームメイトは部屋にいたことがほとんどなく、ほぼ一人部屋のような感覚でした。しかし、そのおかげで他の部屋に行く機会を多くして、自分の部屋は寝たり準備したりするだけのプライベートの空間としてつかえたので、ストレスを抱えることもルームメイトと大きなトラブルを起こしたりすることはありませんでした。なので一人部屋にしてプライベートを保ち、他の部屋の人と仲良くなれ

たのが英語力を向上できた一つの要因だと私は思います。さらに英語を話す機会を増やすためによりアクティブな授業が多くそろそろ Master 向けの授業を多くとっていました。Master 向けの授業の方が、意識が高い学生が多く英語力に関しては Native と同じくらいのレベルを持っていました。実際、すべての能力で劣等感を感じましたが、そうした違いを感じたからこそ、それが刺激になりましたし、その差を少しでも埋めようと日々目標を持って生活できたと思います。実際にやっていたこととしては、語彙力の違いが明らかであったので毎日単語帳と向き合ったリスニング力を上げるために海外の映画を見たり、空いてる時間を有効に活用できていたと思います。しかしあくまでも特に時間を割いたのは英語で会話する時間で、現地でできた友達とご飯を一緒に食べたり、スポーツをしたりと会話を楽しみながら英語を話す時間を増やすことができていました。留学を終えて変わったこととしては、前よりも積極的に英語を話す場を求めるようになったことです。英語で海外の人と話す楽しみを知ったからこそ、もっと日本語で会話するのと同じように自由に使いこなせるようになりたいといった欲が出てきました。さらに同時に現地で日本語を外国人に教える楽しさ、また難しさを知れたのでこの経験をチューターの仕事に生かせることができたらいいなと感じています。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

現地語を覚えるというのが当初の目標にあったのですが、現地語を基礎から学べる授業があっちななく、英語を伸ばすのに必死だったこともあり、あいさつなどの基本的な内容しか覚えられなかったのが心残りです。もう少し日常の中で現地の言語について積極的に覚えようとしていればよかったと感じています。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

この留学を通して、興味のある分野、例えば商品開発などが見つかったので、その分野について知識を深めやりたいことを絞っていきたくて考えています。また同時にスキルアップした英語を継続して毎日使えるように、さらに語彙力を上げ TOEIC や TOEFL で高得点をとれるようにしていきたい。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

最初は街の雰囲気馴染むのに少し時間がかかるかもしれませんが、貴重品などに注意を払う、夜遅く一人で出歩かないなど、当たり前なところに注意を払ってれば、不自由なく生活できる場所だと思います。大学には日本に興味のある学生がたくさんいて彼ら日本の魅力、文化を伝えることで彼らの助けになりますし、私たち留学生もコミュニティを広げることができます。なので英語力を上げることが一番の目的だとは思いますが、実際それ以外にも留学だからこそできる文化交流や他の留学生との旅行の方も大切にしたいと思います。留学を通して留学生や現地の学生だけでなく、現地で働く日本人とかかわる機会を持ってほしいです。特に外国で働く気がある人は、そのような人たちの話を聞けることは、あまり簡単なことじゃないで

すし学生にとってとても刺激になります。またルーマニアというアジア人がすくに地域だからこそそのような地で働く日本人の話はとても参考になりました。なので自分の場合はいつも利用していた日本食レストランのマスターが多くのルーマニアで働く日本人とつながりを持っていたので、そのような機会を得ることができました。またヨーロッパに行く機会は留学を除けば、そんなに多くないと思います。その限られた時間で観光大国といわれるフランスやイギリスなどにもいってどれほど世界中から人が集まっているか実感してほしいです。